

だよ
り

美術
館

contents

- 海を越えてきたみほとけたち - 大陸渡来の仏教美術 [2 ~ 3]
- ふれあいミュージアム [4 ~ 5]
- 実技講座募集 [6]
- 友の会会員募集・ボランティア会員募集 [7]
- お知らせ・貸館情報 [8]
- 近隣美術館・博物館スケジュール [8]
- 日本まんなか共和国 [8]

表紙:「三帝釈天像」朝鮮王朝時代(15世紀)永平寺蔵(部分)



海を越えてきた みほとけたち

平成20年2月29日(金)~3月23日(日)

開館時間：午前9時~午後5時(入館は閉館30分前まで)

休館日：3月10日(月)、17日(月)

観覧料：一般800円、大高生500円、中小生300円

(30名以上の団体は2割引)

主催・会場：福井県立美術館

共催：福井新聞社

日本海を挟み、大陸の対岸に位置してきた福井は、古くより大陸との交流が盛んに行われてきました。平安時代には敦賀に外国使節を迎える松原客館がおかれたほか、小浜や三国の港には異国からの舟もたびたび来航するなど、人々の交流をはじめ、様々な文物がこの地へもたらされました。県内には今も往時の交流を物語る多くの文物や、それを伝える伝説が残されており、いずれも福井の歴史文化に彩りを添えています。

本展は、これら海を越えて運ばれてきた文化財の中から、中国や朝鮮の仏教美術に焦点をあてて開催される県内初の展覧会です。県内所蔵、そしてゆかりの仏画・経典・工芸など約30件を一堂に展示し、日本とは一味違う仏の美と、海を越えた文化交流の一端を紹介します。



「吉祥樹文様嗣書袋」

中国・明時代(15世紀)

永平寺町・永平寺蔵

道元禅師が師の如浄より、師資相承の証として授与された嗣書を納めた小型の袋。梅・桃・橘のお目出度い文様が、レース状の編織(あみぬい)という独特の刺繍技法で表現された大変珍しい作品です。今回の調査で新たに発見されました。初公開。

「迦樓羅王立像」

中国・南宋時代(13世紀)

県立若狭歴史民俗資料館

平成2年に楊貴妃伝説のある小浜市矢代地区の海岸に流れ着いた像。クチバシを持つ特徴的な姿は、日本では千手観音の眷属の一人として知られています。中国・南宋時代の作品です。

【関連企画】

記念講演会（午後2時より、於講堂、聴講無料）

• 3月9日(日)

講師 赤尾栄慶氏（京都国立博物館学芸課企画室長）

演題 「中・韓・日にみる古写経の変遷」

• 3月16日(日)

講師 井手誠之輔氏（九州大学大学院人文科学研究院教授）

演題 「宋元と高麗の仏画世界 日本の中の東アジア」

担当学芸員による解説会（午後2時より、於展示室、要チケット）

• 一般対象：3月2日(日)

• 子供対象：3月23日(日)

その他の主な作品

- 県指定文化財「十六羅漢図」
中国・元時代（14世紀）小浜市・羽賀寺蔵
 - 県指定文化財「観音地藏像」
朝鮮・高麗時代（14世紀）敦賀市・西福寺蔵
 - 県指定文化財「阿弥陀八大菩薩像」
朝鮮・朝鮮王朝時代（15世紀）敦賀市・善妙寺蔵
 - 重要文化財「与大年法延印可状」（竺仙梵僊筆）
南朝時代（14世紀）小浜市・高成寺蔵
 - 重要文化財「孔雀鎗金経箱」
中国・元時代（14世紀）九州国立博物館蔵
 - 「堆黒牡丹鳳凰文大香合」
中国・明時代（16世紀）京都府・高台寺蔵
- 会期中、一部展示替えを行います。



県指定文化財「釈迦三尊像」

朝鮮・高麗時代
大野市・寶慶寺蔵

曹洞宗の開祖道元を慕い、中国の宋より来朝した僧寂円の請来になると伝える作品。仏の堂々とした描写、衣の赤色と金泥による精緻な文様表現には高麗仏画の特徴がよくあらわれています。



県指定文化財「紺紙銀字法華経」

朝鮮・高麗時代（14世紀）
小浜市・羽賀寺蔵

法華経七巻を紺色に染めた紙に銀で書写した作品。各巻頭にはお経の内容が金泥で絵画化されています。朝鮮の泰定二年(1325)に書写され、室町時代の応永29年(1422)に僧乗海によって羽賀寺に寄進されたことが奥書により知られます。

重要文化財「孔雀鎗金経箱」

中国・元時代（14世紀）
敦賀市・西福寺蔵

鎗金とは漆の表面に絵を彫り、そこに金箔を埋める技法です。本作は孔雀や鸚鵡、蓮華唐草が全面に描かれた長方形の経箱で、中国の杭州で制作されたと考えられます。黒の地に金色の文様が映える美しい作品です。



平成19年度

ふれあいミュージアム

広く県民の皆様が、当館所蔵のコレクションを楽しみ鑑賞する機会の提供と、文化活動に親しむきっかけ作りを目指して、敦賀市と小浜市で『移動美術館』を年に3回開催しています。平成19年1月には、さらなる文化の裾野の拡大を目的に『ふれあいミュージアム』が加わりました。学校や病院、公共施設等での作品展示や出張授業が試みられるようになり、平成19年度には12回開催されました。

『ふれあいミュージアム』において展示できる作品はサイズや重量、運搬、保存上の問題をクリアしたものに限られます。



西洋版画の解説



小野忠弘・未知との遭遇



三上誠ってどんな人？を考える

学校での美術鑑賞会

出前授業

美術館の学芸員が、コレクションの何点かを学校に持参し、それらの魅力を伝えるという「鑑賞授業」が軸となっています。小・中・高と発達過程の異なる少年少女たちは当然のことながら年代によって反応が違い、各学芸員が試行錯誤しながらその手法を探っている段階です。

小学生の場合、固定観念と知識が邪魔する大人には思いつかないような視点や意見が飛び出し、教えられることが多くあります。その背景や作家のことを知識として知らない彼らが余計な知識に左右されていないまっさらな状態で、正面から作品と対話し続けているうちに作者の意図をずばり突いたときには驚嘆してしまいました。子どもたちにはとてつもない鑑賞能力が備わっているということだから、意見を言いやすいような雰囲気作りと作品への道案内をするのがもっぱらの役割とされます。

後ろで見て大人が多くなればなるほど、固くなって「大人にとって好ましいと思われる意見」を言う傾向が見えます。

中高生に対しては基本的に講義形式が多いです。持っていく作品の分野を担当しているそれぞれの学芸員が授業を用意しているが、一方通行にならないように子どもたちをよく知っている教員と事前に十分な打ち合わせをしていくことが肝要でしょう。教員側に授業に対する明確な要望と狙いを出してもらうことによって、子どもたちの興味や関心に沿ったより効果的なものへとしていきたいと思っています。



西洋版画の美術鑑賞会



ピカソの版画の前に



江戸の細密金工の美術鑑賞会

公共施設等での美術鑑賞会

展示会場は、美術品等への影響が極めて少ない一定の保存環境（温度、湿度、光量）に保たれ、防犯・防災体制が整い、鑑賞者が誤って展示品に触れることのないような環境にあることが必要です。いろいろな制約も多いが、展示とともに作品の分かりやすい解説を加えるなどで美術鑑賞を楽しんでもらうことを目指しています。



浮世絵は大きくない...!



江戸の細密金工の展示の一部

平成20年度 福井県立美術館実技講座受講生募集要項

講座科目	基礎講座			専門講座		
	日本画講座	洋画講座	彫刻講座	日本画講座	洋画講座	彫刻講座
指導講師 (講座定員)	大崎 正明 (20人)	坂井 敏之 (30人)	古市 貴代 (10人)	大崎 正明 塩出 周子 (20人)	小原 勉 荒木 道之 (30人)	池田 雅彦 (10人)
講座内容	植物写生	静物	頭像(モデルをみながら) 粘土で制作後石膏取り	風景・静物	風景・人物	胸像(粘土で制作後石膏取り) 頭像を主とした木彫
講座会場	県立美術館 実技研修棟			県立美術館 実技研修棟		
講座期間	平成20年 4月5日～6月21日 (土曜日)延10回			平成20年 7月5日～平成21年 1月24日(土曜日)延25回		
講座時間	午後1時30分～4時30分			午後1時30分～4時30分		
対象者	作品制作の初歩的な基礎を学ぼうとする者			作品制作の経験があり、さらに専門的に学ぼうとする者、 基礎講座経験者		
受講料	7,500円			19,000円		
講座日	平成20年 4月 5日・12日・19日・26日 5月 10日・17日・24日 6月 7日・14日・21日			平成20年 7月 5日・12日・19日 8月 2日・9日・23日・30日 9月 6日・13日・20日・27日 10月 4日・11日・25日 11月 1日・8日・15日・22日・29日 12月 6日・13日・20日 平成21年 1月 10日・17日・24日		
募集期間	平成20年3月1日(土)～3月20日(木)			平成20年5月1日(木)～5月31日(土)		

【応募方法】

必ず**官製ハガキ(往復ハガキ)**を使用し、右記の
所定事項を記入の上、投函して下さい。
記入は、楷書で明確にお願いします。
電話による応募の受付はいたしません。

【応募条件】

16歳以上で県内に居住する者、県内に在学する者
および勤務する者。
受講歴1回以下の者。

【受講者の決定】

応募者が定員を超えた場合は、抽選により決定し
ます。(新規応募者優先/結果は締切り後10日以内
に連絡します。)

ハガキに記入する事項

講座種別と科目(例: 専門講座、日本画)

氏名(ふりがな)、性別

生年月日、年齢

住所、電話番号(連絡先)

専門講座に限り、経験の程度を簡単に記入して下さい。

(例: 年度基礎講座受講、年、県・市美展入選、入賞)

往復ハガキに
ご記入ください。

お問い合わせ/宛て先

福井県立美術館 実技講座係

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1

TEL.0776(25)0452

講師急病などやむを得ない都合により日程が変更または代替講師になる場合があります。

材料は受講生実費負担とし、各自で用意していただきます。

作品や道具類はその都度お持ち帰り下さい。

研修棟を各グループで利用していただくこともできます。

(有料: 詳細は県立美術館までお問い合わせください。)

この講座は福井ライフ・アカデミー事業に連携しています。

【作品展日程】

平成21年2月8日(日)～2月15日(日)

搬入: 平成21年2月7日(土)

搬出: 平成21年2月15日(日) 16:00～17:00

福井県立美術館

友の会

平成20年度

会員募集

友の会とは、

福井県立美術館友の会とは、美術に親しみ、美術鑑賞会などの催しものを通して親睦を深めようとする人たちの集まりです。

活動内容

1. 友の会ニュース・美術館だよりの発行、配布
2. 県外美術館見学会の実施（年2回）
3. 実技講座・美術講座の開催
4. 企画展鑑賞会の開催

特典

1. 常設展はいつでも無料でご覧いただけます。
2. 企画展無料入場券の配布があります。
3. 県立美術館主催、共催の展覧会が2割引でご覧いただけます。
4. ミュージアムグッズが2割引でお求めいただけます。（一部除外品有）

会費

- 【一般会員】 2,000円
 - 【家族会員】 4,000円
 - 【特別会員】 10,000円
- 途中入会による割引はありません。

会員期間

4月1日から翌年3月31日までの1年間
ただし入会は随時可能です。

申込み方法

郵便振替、銀行の口座振替、または申込み用紙に会費を添えて、美術館窓口で直接お申込み下さい。

【郵便振替でお申込みの場合】

振替用紙の通信欄に、

住所 氏名 生年月日 電話番号 職業

をご記入のうえ、次の口座に会費をお振込みください。

口座番号 00700 - 8 - 41543

【口座振替の場合】

「口座振替依頼書」を提出していただきます。



スタンドグラス講座



デッサン講座

詳しくは、県立美術館友の会事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 県立美術館 友の会事務局 TEL.0776(25)0452

福井県立美術館 ボランティア会員募集

福井県立美術館ボランティアの会では、平成20年度の新規会員を募集しています。美術に親しみながら、美術館の仕事を手伝ってみませんか？ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

一緒に美術館のお仕事、手伝ってみませんか？



入会内容

1. 美術に興味のある高校生以上の方
2. 月2回以上活動可能な方

入会内容

1. 来館者の方向けのインフォメーションサービス
2. テーマ展・展覧会場での監視や作品解説
3. 図書・美術関係資料などの整理

なお、入会にあたっては事前に、育成講座と体験学習を受けていただきます。

【お問い合わせ】 ボランティアの会事務局 TEL.0776(25)0452

< 3月～5月の休館日について >

3月10・17日 4月1～3日 4月28～5月1日

は、展示替え、館内メンテナンス等のため、休館とさせていただきますのでご了承ください。

貸館情報
[3/4～4/27]

3/ 4～ 3/ 9	仁愛女子短期大学 生活環境専攻 卒展2008
3/ 5～ 3/ 9	福井県立美術館友の会 実技講座受講生作品展
3/12～ 3/16	日象会福井県支部展
3/13～ 3/16	野村楊香個展
3/19～ 3/23	第12回茂実会展
3/21～ 3/23	藤島高校書道部展
3/26～ 3/30	絵画グループ 写画壇 作品展
4/ 4～ 4/ 6	第3回聴雪社書展
4/ 4～ 4/ 6	還暦記念 法水越仙個展
4/04～ 4/06	" グループ彩 第6回水彩・スケッチ作品展
4/09～ 4/13	第26回究展

4/10～ 4/13	第23回シルバー福井展
4/10～ 4/13	第16回グループS洋画展
4/11～ 4/13	朝日守日本画展
4/17～ 4/20	日本の美 刺し子と水墨画展
4/17～ 4/20	第2回現代美術・L展
4/17～ 4/20	第10回パレット・JIN絵画展
4/17～ 4/20	まだ うまだ展
4/24～ 4/27	第35回「失われゆく自然・人間」展
4/24～ 4/27	第22回白梅会洋画展
4/24～ 4/27	美山絵画教室展

FUKUI

近隣美術館・博物館スケジュール

福井市立郷土歴史博物館

福井県福井市宝永3丁目12-1 E-mail: history@museum.city.fukui.fukui.jp
休館日:3月18日(火)、19日(水)、4月14日(月)

平成20年春季特別展 「館蔵名品展」

3月20日(木・祝)～5月6日(火・休)

福井市美術館 [アートラボふくい]

福井市下馬3-1111 TEL.0776-33-2990
休館日:月曜日(祝日の場合は火曜日)、祝日の翌日

『美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方』展

3月15日(土)～4月13日(日)

一般 800円 / 大高生 500円 / 小中生 300円

広
報
板

日本まんなか共和国

日本の東西文化の境界にある四県 岐阜、三重、滋賀、福井 が連携し、より効果的な文化活動を行うため、先進的な「日本まんなか共和国」の創造を目指しています。

滋賀県立近代美術館

大津市瀬田橋大萱町1740-1 TEL:077-543-2111

信・望・愛 理想の居場所をつくる

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ展

2月9日(土)～3月30日(日)



旧水口図書館 滋賀県甲賀市・登録有形文化財)
写真提供:甲賀市教育委員会

滋賀県近江八幡市を拠点に建築家・実業家として活躍したウィリアム・メレル・ヴォーリズ(1880-1964)が残した建築作品を写真や映像資料、模型や資料などから紹介し、建築をとおして理想の生活を築こうとした、ヴォーリズの活動と思想の系譜をたどります。

一般 900(700)円 / 高大生 650(500)円 / 小中生 450(350)円
(内は20人以上の団体割引及び前売料金)

岐阜県美術館

岐阜市宇佐4-1-22 TEL:058-271-1313

ぐりとぐらとなかまたち
山脇百合子絵本原画展

1月11日(金)～3月2日(日)



山脇百合子は、子供たちに人気の『ぐりとぐら』シリーズをはじめ、これまでに多くの絵本や挿絵を手がけてきました。本展では、宮城県美術館の絵本原画コレクションの中から、山脇百合子が描いた原画の世界を、代表作を網羅して紹介します。

一般 700円 / 大学生 500円 / 高校生以下は無料
20名以上の団体は上記料金より100円引き、
前売りは上記個人料金から200円引き

特別展示 田口コレクション展 現代の美術

3月11日(火)～5月11日(日)

一般 320円(団体260円) / 大学生 210円(団体160円)
小学生、中学生、高校生無料
団体は20名以上

三重県立美術館

津市大谷町11 TEL:059-227-2100

スティール / モーション
液晶絵画展

2月14日(木)～4月13日(日)



ジュリアン・オビー
(イヴニング・ドレスの女)
2005年
アニメーション
40インチ液晶モニター、
コンピュータ
国立国際美術館

近年、飛躍的な技術的發展を見せている平面ディスプレイ装置は、ビデオ・アートの世界に新たな一頁を開きつつあるように思われます。最先端の液晶ディスプレイによる作品を中心に構成される本展では、国内外で活躍中の作家14名の斬新な発想による絵画と映像を融合させた新しい芸術表現を紹介します。

一般 900(700)円 / 高大生 700(500)円
/ 小中生 500(300)円
(内は20人以上の団体割引及び前売料金)